

# 自然復元関連事業の取り組み

## はじめに

防災や生活基盤に関わる工事や開発、気象災害などにより破壊される植生を、もともとあった自然に近づける技術を提供したい。そういった願いのもと、当社は、約20年前より自然復元関連の事業に取り組んでいます。ここではこれまでの施工事例などを中心に生物多様性に配慮した事業の一端を、いくつかの項目に分けて紹介させていただきたいと思います。現状として、地域性種苗による緑化は、工事直前での材料などの調達が困難で準備期間が少ない場面が多く、流通する種苗を使用する機会が多いように見受けられます。また、実施しようとしても材料の確保が難しかったり、時間が必要であったりなど、多様な自然環境や生物に対応できる技術が確立していない状況でもあります。

## 1. 自生種の採種、育苗、現地導入

自然環境への配慮が必要とされる自然公園内や貴重な動植物の保全・復元を図るような場面において、自生地調査・採種計画、そして実践に向けての種子採取・種子精選、播種・育苗といった作業は、複数年掛けて行っています。これまでに火山泥流跡地での砂防工事後の植生復元（写真1）、国立公園内の登山道の法面復元、海岸に近いところでは飛砂防止のための植生復元、河川護岸や河道掘削での水際植生復元、道路法面での法面樹林化などを実施してきており、少し変わったところでは、環境サミットの際に壁面・屋上緑化の場面で自生種植物を導入してきました。（写真2）



写真1 砂防工事跡地での植生復元





写真2 自生種を用いた壁面緑化・屋上緑化の事例



写真3 自然再生事業における冬の湿原観察会



写真4 森づくりワークショップ実施の様子

## 2. 環境学習・森づくり、自然再生事業

国立公園内や地域に残る貴重な自然環境の保全を目指す活動の中で種まきから育苗、植樹、種拾いなどを実施することで、そこにいる生物たちやその生育環境を見て感じられるような環境学習などを自然再生事業の中で実践しています。（写真3）また、植樹をする森づくり活動をより一歩進化した形で進めている企業と連携することで、森づくり活動の場面において、これまで蓄積してきている技術を活かし、多くの人々に知ってもらえるよう種まきや苗づくりも取り入れたWS（ワークショップ）などを実施している例もあります。（写真4）

## 3. 都市部での利用や新たな実践など

都市公園内においては、草刈り等管理費用の削減を目指した野の花による修景植栽（写真5）、駅周辺の再開発にともなう都市公園での野草花壇の整備などを実施しています。調整池や工場緑化のビオトープ造成後においては、10数年経った箇所ではトンボの観察会が行われるなど、自然環境の復元とともに、その後の利用も実践されている事例（写真6）もあります。また生活排水など汚水の低コスト処理法として普及している人工湿地の技術開発においては、主に北海道内で畜舎の排水処理（水質浄化）を持続的に運用するために、湿地の表面に苗を





写真5 省管理を目的とした野の花の修景植栽



写真8 東北沿岸部での植栽交流会の様子



写真6 ビオトープ池でのいきもの観察会の様子



写真7 人工湿地へ植栽した事例

植えて、植物の持つ力や植えることによって創り出された環境、そしてそこに住む様々な生物たちの力を利用する技術の開発・運用が進められていて、その植物材料として北海道内に自生するヨシなどの苗が利用されています。(写真7)

#### 4. 里浜復興に向けた取り組み

東日本大震災後、植生が自然に回復しつつあったものの、防災工事の進行で、再び失われていることなどから、現地の種を北海道（学校や企業、地域のNPOなどの団体や有志ら）で育て、再び現地に植えるという活動を行っている「北の里浜 花のかけはしネットワーク」に技術的なサポートを行うことで、遺伝子かく乱防止などに配慮しながら、仙台、名取、石巻、釜石などへの活動に協力しています。また、種まきや苗づくり、そして現地での植栽などの交流活動を通じ北海道と東北での広域ネットワークを築き、人と人とのつながりを深めながら、防災・復旧工事などで失われつつある砂浜環境を取り戻すべく、残っている自然環境を学びながら、活動を進めているところです。(写真8)

#### おわりに

ここに紹介させていただいた取り組みはごく一部分ですが、もっと身近な生活環境の場面や、より多くの人たちに知ってもらいたい技術、そしてここまで蓄積されてきた技術や情報（つながり）には多くの可能性が秘められているように感じています。自然復元関連の事業のみならず様々な場面において、これからも多種多様な自然を手本に、その場面にあった目標を定め、じっくりと長期にわたり、知恵を結集しながら、順応的な管理を行うことが大切と感じています。